

学校規模の適正化に向けた取組等について

1. 概要

令和 7 年 3 月に策定した「学校規模の適正化等に関する方針（案）」をもって実施していた意見交換会の進捗状況について報告するものです。

2. 意見交換会の実施内容について

(1) 対象者

市内小・中学校の教職員、児童生徒とその保護者、PTA、学校運営協議会、附属機関等

(2) 実施場所

市内小・中学校や公共施設の会議室等

(3) 実施期間

令和 7 年 5 月～（現在も随時実施中）

(4) 内容

- ① 「学校規模の適正化等に関する方針(案)」の説明
- ② 意見交換の実施
- ③ 事後アンケートの実施

3. 意見交換会の実施状況について

(1) 参加状況

	実施数	参加人数	内訳
教職員 PTA役員	各 11 回	299 人	市内全校
保護者	3 回	28 人	市内公共施設において 3 つの日程で開催
学校運営協議会 (学校評議員)	3 回	23 人	杉小、二中、浦戸小・中
附属機関	7 回	43 人	社会教育委員の会議、市民交流センター審議会、生涯学習センター審議会、文化財保護審議会、青少年相談センター運営協議会、スポーツ推進審議会、子ども・子育て会議
合計	35 回	392 人	

(2) 主なご意見

① 教職員

- ・学校再編を考える際は、通学距離を考慮していただきたい。低学年ともなると4kmは難しいと思う。
- ・特別支援学級は増加傾向にある。学校再編を考える上では、この点も考慮いただきたい。

② P T A役員

- ・待ったなしは強く感じる。ただプロセスを踏まないと遺恨が残ると思う。
- ・学校統廃合に疑問がある。もしかしたら自身の学校がなくなるのかとの不安がある。

③ 保護者

- ・統合については理解できる。できるだけ早く統合までのスケジュールを示してほしい。
- ・1学年2クラスはあった方がよい。1クラスになるのであれば統合は必要。
- ・地域に学校は必要ではないか。
- ・少人数の学校でもよいのではないか。

④ 学校運営協議会

- ・これから20～30年後に人口が急減するといわれているので、その頃までを考えて、学校をどこかに集約するなどのプランニングが必要だと思う。
- ・子どもが減るのは親の仕事がないことともつながる。塩竈を何で活性化するかを考えるべき。学校のことだけを考えているだけではよくない。

⑤ 附属機関

- ・子どもの数が減ってきており、1学年1クラスの学校も出てきていると聞く。卒業まで同じ顔ぶれで過ごしていくのはいかがなものか。交流があった方がよいのではないかと感じる。
- ・学校規模の適正化を進めるということは、子どもたちにとっても激動の時期を迎えるということ。数ありきではなく、子どもたちの精神面や心理面など、心のケアの面も重視して検討を進めて欲しい。

4. アンケートの回答状況について

	回答件数	回答概要
教職員	141件	別冊「学校規模の適正化に関するアンケート調査」のとおり。
附属機関	6件	
保護者	7件	
学校運営協議会 (学校評議員)	0件	
合計	154件	

5. 今後の予定

- 令和8年1月以降 継続して意見交換会の実施、具体案の検討
令和9年3月 「学校規模の適正化等に関する方針」の策定

学校規模の適正化に関する アンケート調査

令和8年1月
塩竈市教育委員会

目 次

第1章	教職員向けアンケート集計結果.....	3
1	全体集計	3
第2章	附属機関向けアンケート集計結果.....	25
1	全体集計	25
第3章	保護者向けアンケート集計結果.....	31
1	全体集計	31

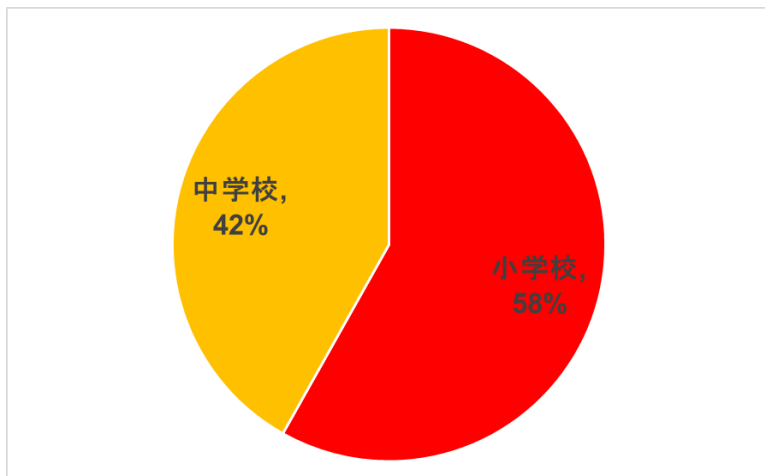
第1章

教職員向けアンケート

集計結果

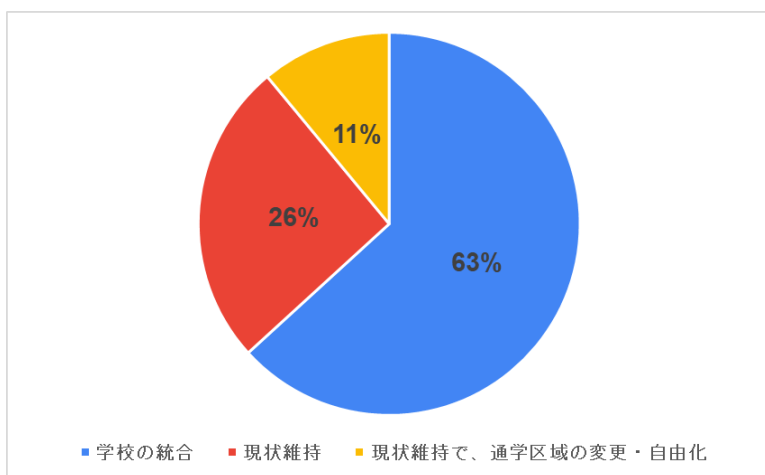
1 全体集計（教職員向けアンケート）

1. 所属学校種



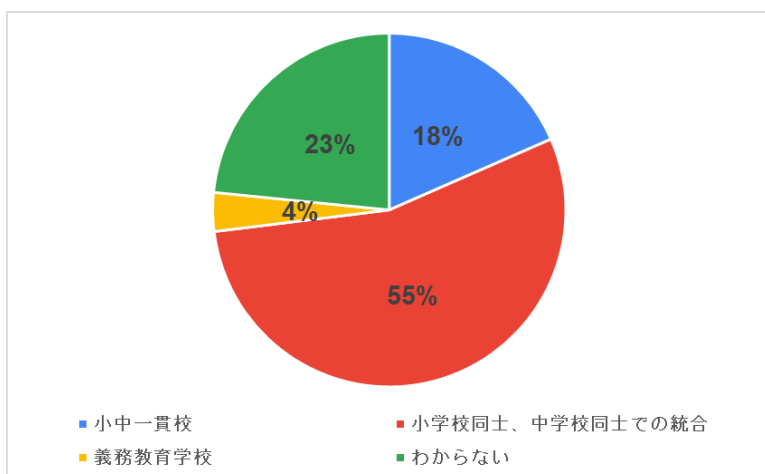
選択肢	回答数（件）
小学校	82
中学校	59
計	141

2. 学校規模の適正化を推進するための方法として、どの手法が望ましいと考えますか。



選択肢	回答数（件）
学校の統合	86
現状維持	35
現状維持で 通学区域の変更・自由化	15

3. 学校を統合する場合、どの形態が望ましいと考えますか。



選択肢	回答数（件）
小中一貫校	26
小学校、中学校 同士での統合	77
義務教育学校	5
わからない	33

4. 具体的にどの学校を統合するのが良いと考えますか。

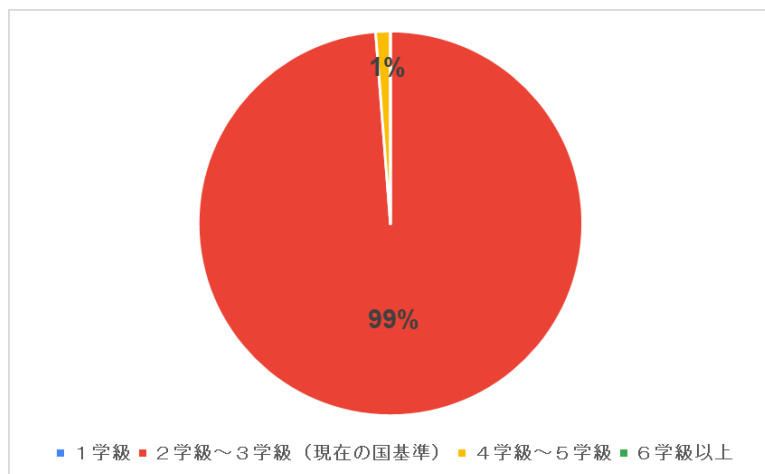
- ・中学校区で考えるのが地域性、通いやすさが担保されるのではないかと思います。
- ・小学校は、地域の中にあるのが望ましいと思うが、中学校は、学区を廃止し、選択できるようにするとよいのではないか。
- ・小規模の特色を生かせるイエナプランを実施する学校や集団生活を選択できる中規模校など、学校毎の特色を明確にし、選択肢を与えたらいいのではないか。
- ・学年に1クラスしかない学級が多ければ統合してもよいかもしれませんが、難しい問題であると考えます。保護者さんの考えや地域の皆さんやこれから入学してくる新一年生の保護者さんたちは、学校の統合についてどう考えているのか知りたいです。
- ・(具体的な統合案ではありません)中学生が小学生を見ると心優しい気持ちに・・・、という意見も分かりますが、それ以上に、6年生が1年生のお世話をすることや中学進学という明確な節目があることの利点大きい気がしています。
- ・今年度、塩竈市に赴任してきたので土地勘がないのですが、近隣校との統合が良いのではないのでしょうか。仙台市では、3校を統合し児童の登校は、保護者送迎または、タクシー（費用は仙台市）でした。費用面で難しいとは思いますが、インクルージブ教育に向け校舎はやはり新築し、多様化したニーズに対応できるようなることを、ぜひお願いしたいと思います。
- ・中学校区で行う。
- ・予算面もあるとは思いますが、統合した際には校舎は新しいものになることがいいと思います。
- ・人数が少なく、学習活動を行う上で様々な活動に制限が出てしまうなど、子供に付けたい力が十分付けられないような状況が長く続くと予想される場合。
- ・通学距離が近い学校同士を統合すると良いと思います。
- ・新しい学校を建てて、その地域に近い学校。
- ・新しく大きな小中学校を作る。
- ・単純に近くの学校同士をとというわけにはいかないとしました。それは、統合した場合の児童数が多くなることで教育の質が下がらないか心配になるためです。また統合することで通学に要する時間が増える児童も出てくることも心配です。
- ・各地区同士で統合し、その後は塩竈での統合、周辺の市の統合が望ましいと思います。
- ・生徒の教育に必要なものがそろうのであれば、どちらでもかまわない。
- ・市内の全ての中学校。
- ・距離が近いということが1番優先されると考えます。
- ・小学校同士、中学校同士の統合をベースにしながら、小中一貫校があってもよいと思います。
- ・学区を見直してからの統合がいいかとおもいます。
- ・難しいのは承知の上で、塩竈全体で小学校1校、中学校1校に統合するのが良いと思います。
- ・距離の近い学校同士を統合するのがよい。
通学バスが運行できるのであれば、小学校同士、中学校同士で統合するのがよいと考える。
- ・現在の学区に基づいて統合。

4. 具体的にどの学校を統合するのが良いと考えますか。（つづき）

- ・正直なところ、塩竈市の他校の現状をあまり把握できていないので、具体的な方策や形態について思い至らないところがあります。

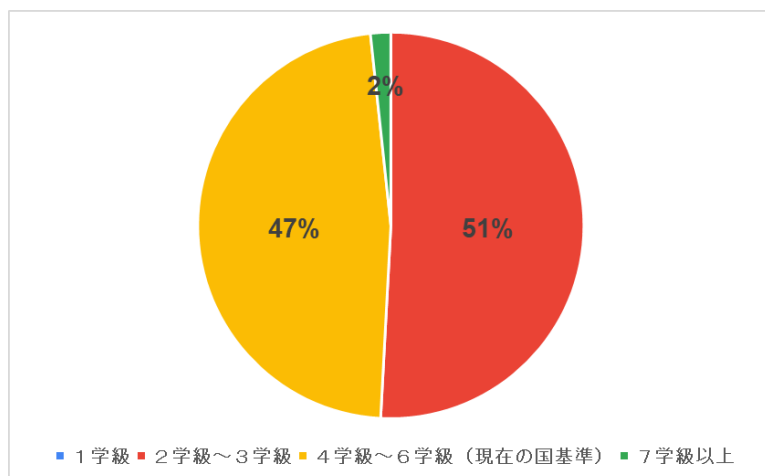
1 全体集計（教職員向けアンケート）

5-1. 望ましい1学年の学級数はいくつぐらいだと思いますか。（小学校）



選択肢	回答数 (件)
1 学級	0
2～3 学級 (現在の国基準)	80
4～5 学級	1
6 学級以上	0

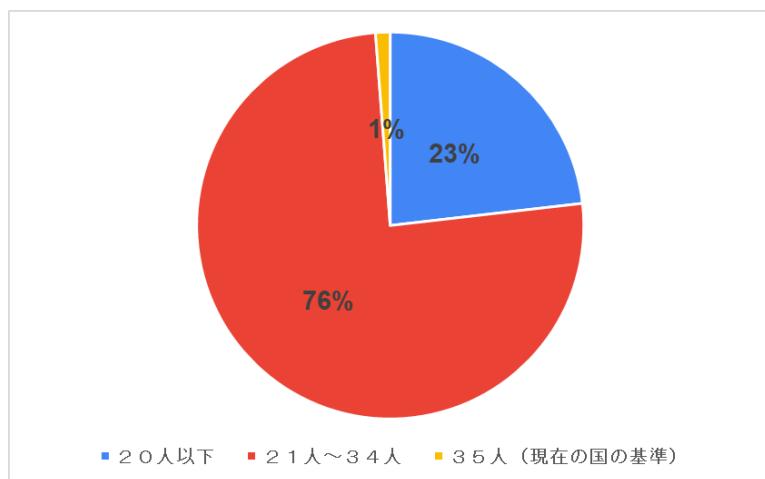
5-2. 望ましい1学年の学級数はいくつぐらいだと思いますか。（中学校）



選択肢	回答数 (件)
1 学級	0
2～3 学級	30
4～6 学級 (現在の国基準)	28
6 学級以上	1

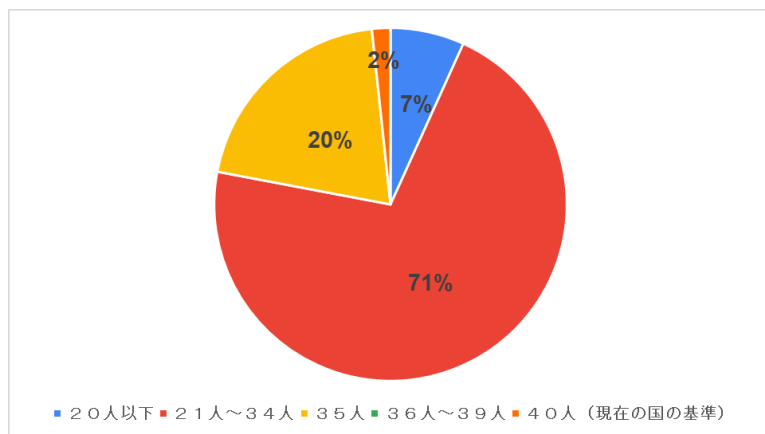
1 全体集計（教職員向けアンケート）

6-1. 望ましい1学級あたりの児童数は何名ぐらいだと思いますか。（小学校）



選択肢	回答数（件）
20人以下	19
21人～34人	62
35人（現在の国基準）	1

6-2. 望ましい1学級あたりの生徒数は何名ぐらいだと思いますか。（中学校）

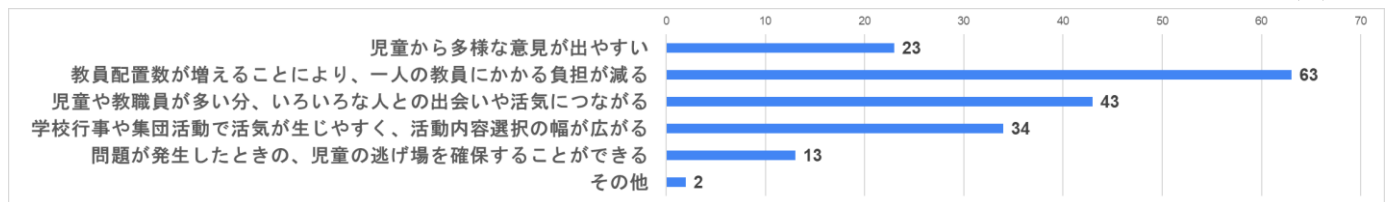


選択肢	回答数（件）
20人以下	4
21人～34人	42
35人	12
36人～39人	0
40人（現在の国基準）	1

1 全体集計（教職員向けアンケート）

7-1. 大規模校のメリットはどのような点にあると思いますか。（小学校）

(件)



※「その他」の意見

- ・クラス替えができる、特別支援教育の加配がしやすい。
- ・学年として足並みを揃えていくと望ましい教育につながると思う。（47学級1,600人規模の学校に勤めた経験から）

7-2. 大規模校のメリットはどのような点にあると思いますか。（中学校）

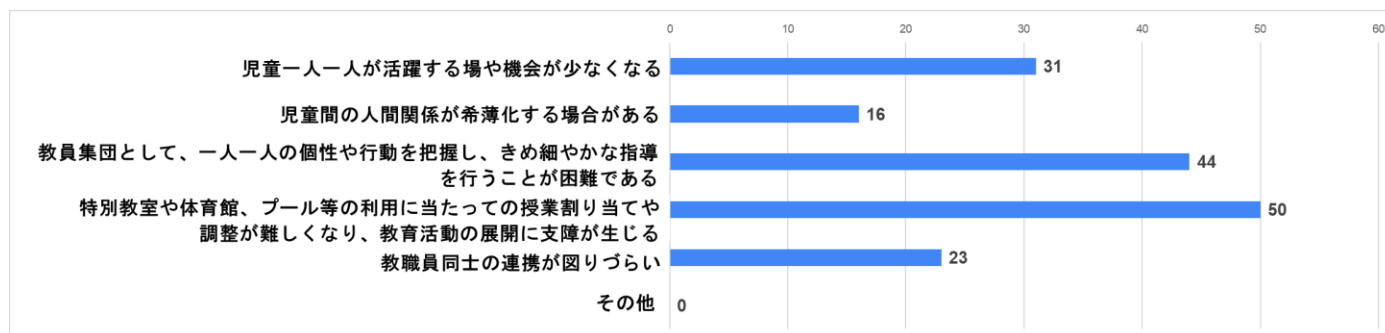
(件)



1 全体集計（教職員向けアンケート）

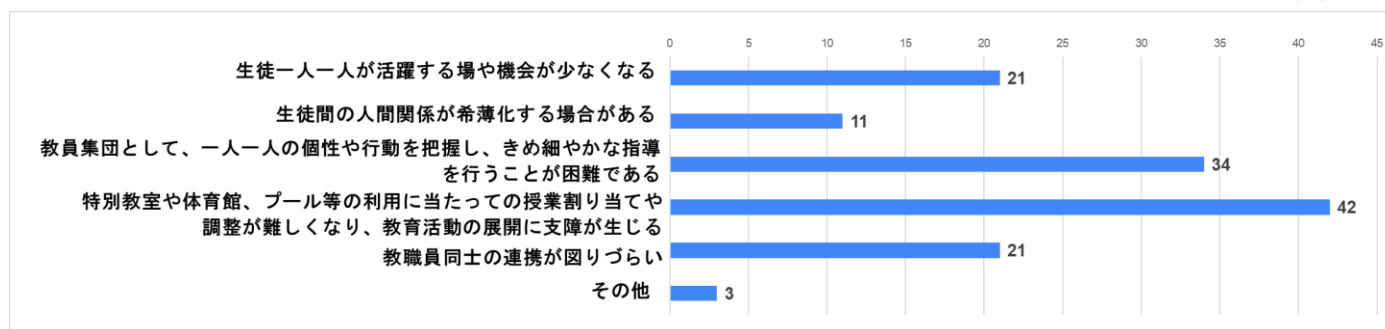
8-1. 大規模校のデメリットはどのような点があると思いますか。（小学校）

(件)



8-2. 大規模校のデメリットはどのような点があると思いますか。（中学校）

(件)



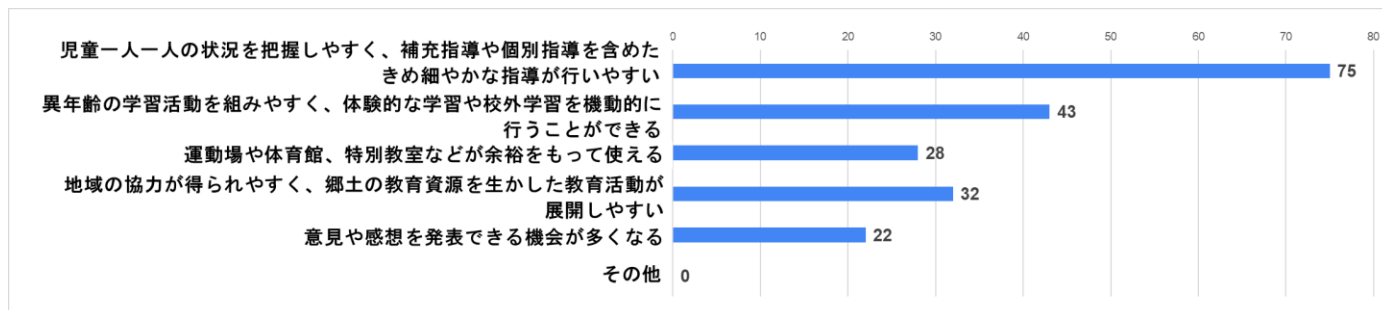
※「その他」の意見

- ・行事の運営が苦しくなる。
- ・不登校生徒が多く、サポートルームはあるがそこに通う生徒の実態もさまざまに対応しきれない状況。大規模だと人間関係のトラブルも起こりやすく、不登校生徒が増えてきて教員はその都度様々な対応をしているので大規模校の教員だからといって分担できているわけではない。むしろ不登校対応など大規模校ならではの新たな業務量への対応の難しさ（限界）も感じている。
- ・リーダーとなる教員(学年主任を始めとする主任級の教員)の力量が問われる。その力量によりメリットとデメリットが裏返る可能性がある。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

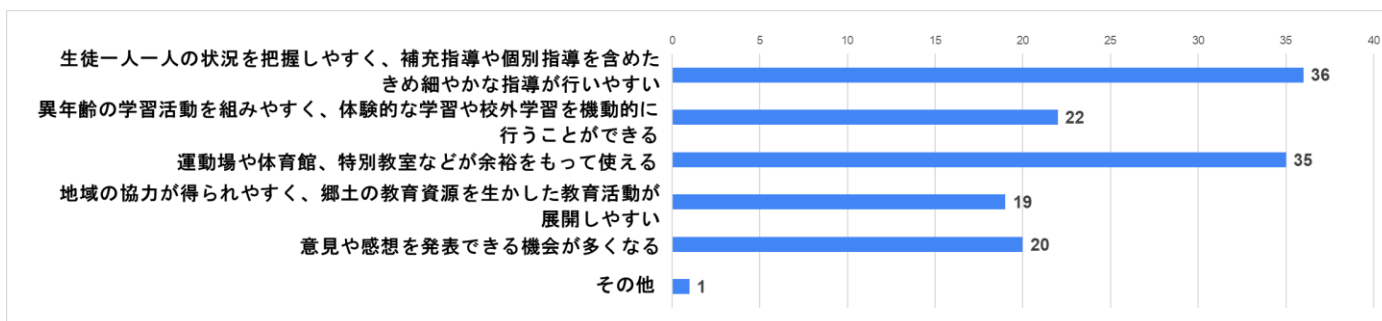
9-1. 小規模校のメリットはどのような点にあると思いますか。（小学校）

(件)



9-2. 小規模校のメリットはどのような点にあると思いますか。（中学校）

(件)



※「その他」の意見

- ・教員はともかく生徒にとっては、小規模校より中～大規模校の方がメリットは多いと思います。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

10-1. 小規模校のデメリットはどのような点があると思いますか。（小学校）

(件)



※「その他」の意見

- ・人間関係が固定化される。

10-2. 小規模校のデメリットはどのような点があると思いますか。（中学校）

(件)



※「その他」の意見

- ・悪い意味で固定化された人間関係や、選択肢の少ない部活などは生徒が成長する可能性を減らしているように思えます。
- ・教育予算(人件費、維持費とも)が増大し、市財政への負担が大きくなる。児童の人間関係が固定化され、一部生徒のみに活躍の場が集中する。また、トラブルがあった場合の逃げ道がなくなる懸念がある。(学区の自由化が最低条件となるが、場合によっては東京都のように年度によって大きく児童数変動し、職員の配置等にも問題が生じる場合が予想される。教員間の情報交換の機会が希薄となり、若手教員の育成に支障が出る場合が予想される。)

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1.1. 学校規模の適正化等に関する方針（案）をご覧になった感想をお聞かせください。

《意見の傾向》

①学校の再編・統合の「必要性」と「理解」

「子供の数が減少している今、やむを得ないこと」や「老朽化の進みについては深刻」など、少子化と施設の老朽化を背景に学校の統合や再編はやむを得ない、あるいは必要な措置であるという認識が示された意見が多くありました。

②教育環境・指導体制への意見や要望

「一人一人の困り感に寄り添った指導ができるようになったらいい」や「教員の人数は減らさない方針でお願いしたい」など、規模が変わることで教育に与える影響への懸念や要望の声が多くありました。

③塩竈市特有の課題について

「塩竈という立地上考えるオプションが少ない」や「地形上難しい場合がある」など、塩竈市ならではの物理的な制約が、大きな壁になることを指摘する声がありました。

④住民・現場の「意見反映」と「進め方」

「今の児童を大事に考えたい」や「保護者や地域の意見が大切」など、当事者の意見を重視し、慎重に進めるべきという意見が見られました。

《具体的な記述（原文ママ）》

- ・児童・生徒数の減少の様子が分かりやすく、再編や統合の必要性は感じ取れました。
- ・少子化により、児童・生徒数の減少が見込まれるのであれば、統合はやむを得ないと感じた。
- ・少子化の深刻さを感じました。統合に向けての準備の大変さが伝わりました。
- ・児童生徒の数が減っていく上で、適正規模を模索していくことは必要である。
- ・難しい問題で、色々な視点での検討が重要に感じました。
- ・学校規模の適正化については良いと思いますが、現状人数が多いように感じています。20人以下だと望ましいと感じます。
- ・児童数は減少しているものの、特別支援教育を必要とする児童は増加傾向にある。支援員の方々には頑張ってもらっているが、子どものニーズに対応するためのマンパワーが足りていない。
- ・現状とこれからの方がまとめられていると感じました。
- ・校舎の老朽化が問題だと思います。工事費等を鑑みても、統合の必要性を感じました。
- ・現状維持でおねがいしたいです。今の児童を大事に考えたい。
- ・他の自治体では1学級の児童数を25人以下にしていこうとする取り組みが進められていることを耳にしていたので、塩竈市も1学級あたりの児童数を減らして児童ひとりひとりの困り感に寄り添った指導ができるようになったらいいなと感じました。
- ・なかなか難しいところもあるかな、と思いました。
- ・少子化や老朽化の耐震化等の対策も踏まえると、統合は一つの選択肢になると思います。
- ・様々な角度から考えられていると感じました。適正化は必要だと考えるので、様々な角度から考えより良い適正化を今後も考えていただきたいです。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1 1. 学校規模の適正化等に関する方針（案）をご覧になった感想をお聞かせください。

（つづき）

- ・様々な視点から難しいことも多いと考えるが、子供の数が減少している今、やむを得ないことだと感じた。
- ・先生方の意見を聞いて、本気で考えようとしてくれているのだなと思いました。
- ・少子化が進んでいる状況を踏まえて、適切に統合する必要があるのだなと感じました。通学の距離や学区の見直しなど、今一度考え直す必要も出てきているのではないかと思います。しかし、塩竈市の地形上、難しい問題も多々あると思われます。どこかの学校に集中して人数が集まるようなことが起きることを避けて、統合する学校などを決めていく必要があると思われます。
- ・メリット、デメリットも含めて現状と課題を理解しました。
- ・未来を見据えて、学校教育と向き合っていく必要性を強く感じた。
- ・塩竈市は歴史も古いため、学区の再編成もなかなか難しいと思う。
- ・塩竈市の児童生徒数は減少していく見込みですが、1つの学校当たりの教員数は少なくしないほうが良いのではないかと考えました。1学年の学級数が1つ減り、教員数も1人減ると、今までと変わらない教育となり、質の高い教育を目指しにくくなってしまおうと思うので、教員の人数は減らさない方針でお願いしたいなと考えます。
- ・今後、児童・生徒数が少なくなってくると考えると妥当な判断かと思われます。実際に児童が通う保護者や地域の意見が大切になってくると感じました。
- ・「適正な配置」とは、どの学校の通学距離や通学時間も大きな差がないということを目指すのではないか。案では、「学校の統合」が学校規模適正化の効果的な方法であると考えられているが、それは無理があると考えられる。
P9の地図を見ても、「学校の統合」で(2~3校→1校)にして学区のほぼ真ん中に学校が来るようになることは考えにくい。まずは、学区の再編から進めるべきではないか。
P7の学校別児童生徒数予想は、まずR7の今年の実数とかなりズレているのではないか。それは、学区内に団地があったりすることとも関係していると思う。市として、現在2歳児から正しい数を算出する事は、住民票等から可能であると思う。であれば、R12年度の児童生徒数を算出できるはずであるとする。その資料をもとにぜひ住民と話し合っていたきたい。
- ・これからの児童の減少傾向から少しずつでも考えていかななくてはならない事案であると感じた。
- ・どの地区でも適正化について課題になっていると思います。多面的に捉え、時間を掛けて進めて下さい。
- ・現時点で将来を見据えて考えていることは良いと思いました。
- ・塩竈市では難しい。
- ・学校の統合は必要なのかなと思いました。ただし、校舎の老朽化は大きな問題であると感じていますので、ぜひ改修工事の計画も同時進行していただければと思います。
- ・児童数の減少、校舎の老朽化など今後懸念される内容が数値で示されており、参考になった。
- ・少子化が進むことにより、今後を見据えての対応が必要とさせるのだと改めて感じた時間でした。子

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1.1. 学校規模の適正化等に関する方針（案）をご覧になった感想をお聞かせください。

（つづき）

供たちにとってよりよい方法を委員会や学校、地域や保護者、子供たちと考えて行かなければならないと思いました。

- ・ 将来を見越して、統合を考えることは良いと思います。統合によって通学距離が長くなる児童・生徒への対応など、統合候補校が出た後に具体的に進むと良いと思います。
- ・ 少子高齢化もあり、統合自体はいつかなくてはいけないと思います。ただ、現在の各校の児童・生徒数では、統合したら1校に対する人数が多くなりすぎてしまわないかと思いました。
- ・ とても興味が持てました。
- ・ 人数等も重要だが、校舎や給食室の老朽化が特に気になった。統合するのであればしっかりと改修してほしい。
- ・ 11ページにある10キロあたりの学校数は3.45と学校が多く設置していることがわかるが、それは塩竈市が坂の多い市であり、単に面積で比べられないと思う。また塩竈市は土地面積が少なくてもその中で密集して暮らしているので、参考にならない。
- ・ 本当にどこから手をつけていいのかわからない、と思いました。経済的な後ろ盾がないとかなり厳しいと思います。
- ・ さまざまな課題があると思いました。適切な規模での学校運営は確かに必要ですが、身近で見ていると通学経路の距離や安全性など気になる点は多くありました。
- ・ 老朽化の進みについては深刻だと感じました。子供達に影響がないよう、配慮しながら統合は行う必要があると感じました。
- ・ 少子化や建物の老朽化などの課題があることがわかり、担当する部局のご苦勞を察しました。お金あつてのことと思いますが、できるだけ保護者や地域住民、教職員の要望も反映できたらと思いました。
- ・ 柔軟に対応できるよう配慮が必要だと思う。
- ・ 選択肢以外も含めて、検討すべき方法が多々あると感じました。
- ・ 学校規模の適正化を進めるには、国の定めに従いながらということになると思いますが、児童生徒一人一人に質の高い教育を行うためには、配置する教員数が一人でも多い方がいいと思いました。
- ・ 小学校と中学校を統合させることについて、教員数が増えることで様々な視点で児童生徒を見ることができるという点は非常によいと思います。一方で、小学生のリーダーシップが損なわれやすいというデメリットも生まれる恐れがあると感じました。
- ・ 塩竈市の小中学校の規模を一覧で見ることができて新しい発見があった。
- ・ 市の現状を踏まえると必要な施策だと思うが、同時に地域から反対意見も多く出てしまうのではないかという懸念がある。
- ・ 部活のチームが組めないということでの合併は避けたいと思いました。
- ・ 具体案は思いつかないが、今後、しっかりと現場の声を聞いて進めてほしい。行政が人知れず決めたことで、現場が混乱しないようにしてほしい。
- ・ 塩竈市内の小中学校の立地上、統合が難しい場合があると感じています。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1 1. 学校規模の適正化等に関する方針（案）をご覧になった感想をお聞かせください。

（つづき）

- ・基本的に学校統合の路線で賛成ではありますが、具体的にどこどこが統合するのか、統合することでのデメリット等を示していただくと、様々な意見が出るかと思いました。
- ・少子化のため統合は仕方ないので、賛成です。
- ・統合した場合、しない場合の明確なメリット、デメリットが明確であればどちらにメリットが多いか明確にわかりやすいのではないかと思います。
- ・必要性を感じる。今後の児童生徒数の変化、それに伴う教員数の変化などの具体的な数字を見てみたい。また、施設・設備の面からも考える必要があると感じた。
- ・適当であると思う。
- ・塩竈という立地上（全学校が丘陵地にある、空き地が少ない等）考え得るオプションが少ないと感じました。
- ・課題は多いが、今やるべきことであり方針に従ってすすめるべき。
- ・児童生徒数の現状と見込みを踏まえて、学校統合、再編は適切な措置と考えます。
- ・いろいろな意見があり、どれも一理ある、と思うので、目的の方を意思統一すれば、統合の内容は自ずと限定されると思います。個人的には、小中一貫より、校種別の方が良いと思います。理由は、発達段階に応じて、集団が広がっていく方が、多様な経験値を得ることができるし、多くの先生方との出会いから、自己理解や自己の成長につながると感じているからです。また、小学校で人間関係を崩すと、同じ集団では、リスタートしづらい思いを抱えた生徒が実際にいるからです。
- ・後々に1つになるかもしれないのであれば、それを視野に入れて考えた方がよいのではないかと思います。
- ・地域の人の意見や、気持ちの面も考慮して統廃合の動きが進んでいけばいいと感じた。
塩竈市の小中学校に対する協力（プールの際のバス送迎等）には積極性を感じるため期待したい。
- ・子供の数が少なくなり、いろんな対応が必要になってくるのが理解できた。
- ・学区編成と統合は必要になると感じました。
- ・早急に適正化の検討をし、方針を示す必要がある。
- ・小規模校と大規模校におけるそれぞれのよさや課題について考えることができました。
- ・少子化が進んでどこでも統合の考えはでていっているので学校規模の適正化については賛成である。しかし、塩竈市は不登校生徒が多いので、どこまで寄り添った対応をしていくのか線引きをした上で統合を考えていく必要があると思う。学校として対応を線引きできるよう、コラソン一つではなく、それ以外の不登校生徒を受け入れられる施設を作ってほしい。
- ・将来的に生徒数が減少することを見据え、統合は進めるべきと考える。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1 1. 学校規模の適正化等に関する方針（案）をご覧になった感想をお聞かせください。

（つづき）

- ・学校規模の適正化は避けて通れない課題だと考えます。令和 32 年までの児童生徒数の予測が示されましたが、予測している範囲の最も遠くの値を判断基準にして適正な学校配置を目指すことが重要だと考えます。それぞれの地域に各校の卒業生が多くいることから感情的には全体の意見の落とし所を見つけることは困難かと思いますが、数字を背景に決定するしかないと思います。また、短期的なコストなどに振り回されず、長期的で継続可能な計画になることを希望します。
- ・良いと思います。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1 2. 学校規模の適正化について、ご意見やご要望があればお聞かせください。

《意見の傾向》

①教育環境・ソフト面

「1学級30人以下」や「教員数の増員」、「不登校支援や特別支援の拡充」など、教育環境の充実を望む声が多く見受けられました。

②施設・ハード面

「校舎の老朽化」や「設備の修繕」など、施設の安全性や維持管理に対する不安の声が見受けられました。

③体制・将来像

「長期的な視点で段階的な集約」を求める声もありました。

また、再編が進んだとしても、「スクールバスの導入」といった通学支援の充実を求める声が多く見受けられました。

④課題と懸念

「検討している間、修繕等が放置されること」や「財政再建団体になってしまうこと」など、財政面やスピード感への声も見受けられました。

《具体的な記述（原文ママ）》

- ・統合をするにしても弾力的な学区の編成は必要だと思います。
- ・塩竈市が財政再建団体にならないように、学校規模適正化を推進していくことが必要だと思う。
- ・子供の最善の利益を重視するものであって欲しいと思います。
今後、さらに多様な価値観を持つ保護者と子供が「柔軟に選べる」ことも大事になるように思います。特に特別なニーズを持つ児童が就学先、転学先を選ぶ際に、学校の設備や間取り、規模、開設学級、職員の配置、教育活動の特色からも検討し、柔軟に選べるようになるとういなと思います。通学に係る交通手段はもとより、空き教室を学童や地域のコミュニティ、放課後デイ等子どもに関わる民間の方に活用いただき、安心できる居場所を確保するなど、遠くから通学する子どもと保護者にも色々な面で困らないようにしていくことが必要かと感じます。
- ・統合を行う際には、学校数が減少することによって1校あたりの教員の配置に余裕が出るようにしていただきたい。
- ・せっかく変わるのであれば、より良いものを創造できる適正化になってほしいと思います。軽井沢の風越学園など、特色のある学校の視察もしてみたいです。
- ・施設面（校舎、プール等）の修繕を少しずつでも進めていただければありがたいです。統合するかどうかが決まらなると難しいのでしょうか。
- ・学校を統合した時に空きが出る学校があるのであれば、フリースクールのようなものができれば有効活用になるのではないかと少し思いました。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1 2. 学校規模の適正化について、ご意見やご要望があればお聞かせください。（つづき）

- ・充実した教育が受けられる規模を考えていただければと思います。そのためにはスクールバスの導入も必要と考えます。
- ・小中の統合、小学校同士の統合どちらもメリットは大きいと思う。小中であれば系統性を意識した指導ができたり、中学校の専門性を小学校に生かしたりなどが挙げられる。
小学校同士のメリットは教職員数が増えるので、本校で実施している学年担任制などの新しい制度などにチャレンジしやすく、一人一人の負担感も減るのではないかと思う。また職員が多くなると経験年数の少ない先生は話す人が増えるので助かる面は大きいと考えられる。児童の通学距離などデメリットもあるが、メリットは大きいと思う。
- ・多方面からの意見を取りまとめ、今後の塩竈市の学校教育がますます発展するようによろしく願います。県内にもいくつか統廃合があった市町村の前例があるので、それらを参考にしながら、進めていくと良いのかと思われまます。（スクールバスの運行や、統合した場合の双方の学校の良さを取り入れる方法など。）
- ・現状でできることをもっと探すことも大事だと思う。
- ・1クラスの児童の人数を多くても30人がいいと思っています。令和7年度に教員1年目で、3年生35人を担任しましたが、毎日しんどかったです。
- ・学校を統合するとなると、給食室は新校舎に新たに作るのか、またはセンター化するか？（センター化となると、搬入口の改修、エレベーターの設置など大規模改修が必要となる。）
実際、統合となるとまだ何年も先の話となる。塩竈市の給食室は、空調等もなく、修繕も進んでおらず、いつ使えなくなってもおかしくない状態にある。給食室の改善を早急にしてほしい。
- ・市民の皆さんは分かっていないと思いますが、各学校の給食室の老朽化や働く環境の劣悪さは大変な状況です。近い将来、子供たちに給食を提供できないというところまでできています。学校規模適正化の話は、3年くらい時間をかけてどのようにするかを決めていき、その後何年かかけて学校を建てることになるだろうと伺いました。給食室の状態を考えると、意外とのんびりと進められないのではないかと思います。一意見でした。
- ・国の基準が小学校1学級あたり35人以内であることは理解しています。また、自分自身経験も浅く、一昔前の40人以上の学級を経験したわけでもないのに努力不足と思われるかもしれません。ですが、1学級35人（現在33人を担任しています）では十分な目配りができていないように思います。特に学習面生活面ともに平凡な児童に対して、関わりが薄くなってしまっていることを実感しています。ぜひ適正化とともに、塩竈市の現状にあった基準についても考えていただきたいです。
- ・統廃合が行われるとなると、どこの学校が主となるのか。新しく校舎を建てるのか。バス通学の有無。学区が広くなると思われるのでその安全面の把握。統合後の学級数の変化はあるのか（児童・生徒数が減少し、統合した結果、現在と変化がないとしたらメリット・デメリットの考慮の意味はあるのか）等々考えられることがたくさんあるかと思われまます。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1.2. 学校規模の適正化について、ご意見やご要望があればお聞かせください。（つづき）

- ・これは、市全体の問題なので、教員の意見(このフォームに送られたもの・説明会で出されたもの)保護者の意見を公開して、どの学区でどんな意見が出されたかをまず市民や教職員が知ることができるようにしてほしい。「広報塩竈」でICTが苦手な人でも簡単にアクセスできるようにしてほしい。私の考えは、案のP7にあるようなR32の児童生徒数になっても、浦戸小中学校のように少人数のよい教育ができると考えている。なので、防災拠点の役割もなす今の学校配置で、あえて統合しなくてもよいと思っている。
- ・塩竈市のような大きな市でも、今後を見据えて考えていかなければならない問題なのだと感じた。
- ・震災以降、石巻地区で統合・閉校や適正化の学校に勤めてきました。地域の意見や児童の希望、財政上の必要性を考え、じっくり進めて下さい。先を見越すと、50年後には、バス通学の小中一貫校に集約していくと望ましいと考えます。(女川小中学校・雄勝小中学校)
- ・杉小も校舎が古く、大規模な地震があったらと心配しています。だからと言って、改修工事が終わった学校に統合されてしまうのも大変かなと思います。大郷小学校の様に、スクールバスで通学する方法もあるのかなとも思います。
- ・塩竈市の学校ごとの児童の特性が違うので、統合すると、その実態に合う指導の困難さが増すと思う。今まで以上の教育的効果は難しい。
- ・現状の教室内で、35人を指導することに困難さを強く感じています。大人の日や手が足りず、教育が行き届かないというのが現状です。1学級の人数を減らすか、学級に対する教員の数を増やすかの対策が必要だと感じています。
- ・2学級以上ないと教育的効果が望めないという基準がよく分からない。
- ・学級数を標準で決めていくのももちろんよいが、大人数に耐えられず不登校になる子もいる。実際、少人数の学校で・・と浦戸を考えた保護者もいた。しかし、通学のことを考えると現実的ではなく断念。浦戸以外にも少人数で学習できる学校があるとよい。
- ・どうか教職員の数を減らさないでほしい。
- ・校舎や給食の面などで地域（市町）間格差が出ないように進めていってほしいと思います。たとえば自分の学校が統廃合されたとしても、塩竈の子供でよかったと実感できるよう、子供たちの気持ちに寄り添いながら進んでいくことを願います。また、今の子供たちが塩竈から離れず、大人になっても塩竈市を支えてくれるよう、地域を愛する子供たちを育てていきたいと思います。
- ・知識・経験を深めて、視野を広げて行きたいと思いました。
- ・少人数の方が児童一人一人の状況を把握しやすく、目も行き届くので学力向上にもつながると思います。また、児童一人一人の活躍する場面が増え、児童の自信にも繋がると思います。
- ・学校の統合自体は反対しないが、一学級あたりの在籍人数はあまり増やさないでほしい。現状でも目が行き届いていないというのが教員間の共通意見である。
- ・無理に統合しなくても良い。部活動は、地域移行も叫ばれているので、チーム塩竈として様々なグループを地域で展開していく方がいい。学校、地域、家庭の連携の機会にもなる。合併よりもお金がかからず、クラブチームや地域にお金が使われる。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1.2. 学校規模の適正化について、ご意見やご要望があればお聞かせください。（つづき）

- ・1学級あたりの生徒数40人が基準は多い。担任の負担が大きい。見きれない部分も出てきてしまう。30人がちょうどよい。35人という奇数はなぜ。ペアは作れないし、机配置も微妙。
- ・多様性に対応するきめ細やかな指導を目指すのであれば、1つの学級での人数を減らすか、教員数を増やして対応できる人数を増やす必要があると考えます。
- ・通級を行っている生徒が22名、グレーゾーンの生徒も多く、目が行き届かないので、30人以下の学級で、担任を複数にすることが確かな学力に繋がると思う。
- ・現在の中学校では生徒数が減っていても、必要な支援（空き教室の確保、支援員の確保）が求められているため、教員の稼働時間が超えている。そのため、必要な支援ができるのであれば統合し、集団のメリットをとってもよいが、できないのであれば個々の学習の確保が優先になると感じるため、統合は難しいと考えます。大変かと思いますが、学びの機会が均等になればと思っています。よろしくお願ひ致します。
- ・地域や家庭にとっては重大な問題なので、例えば通学が遠くなるような統合になった場合、通学用バスを準備するなど、バックアップ体制をしっかり構築していただきたい。
- ・学習スペースの確保が持てるのであればどちらでもよい。現状では教室数や冷房施設等が足りないと感じている。
- ・これまでの各校校舎の大規模改築の順番は、ある程度今回の議論の下地もしくは伏線になっていたのでしょうか？
- ・担当は大変ですが、塩釜にとって重要かつスピードが求められる案件である。協力はいくらでもするので頑張ってください。
- ・塩竈市の将来のために、進めていただきたいし、市民にそのメリットを周知できるようにしていただきたいと考えています。
- ・地域の特性や子供の生育環境を配慮した環境を整えることが大切だと思います。
- ・今の時代、1クラスの人数を減らすことが必要だとおもいました。
- ・特色ある学校づくりは良いが、通学区域の自由化は避けるべきである。
- ・学校規模の適正化については、様々な意見を取り入れながら考えていく必要があると思います。
- ・まずは老朽化した学校を安全に改修し、その上で統合可能かどうか検討の必要があると思う。
- ・学校として不登校生徒への対応を線引きできるよう、コロナだけでなく、それ以外の不登校生徒を受け入れられる施設を作ってほしい。また、特別支援学級の生徒も多様化してきている。不登校生徒の中には診断は出ていないが、発達障害を有している生徒もいると感じる。しかし、診断が出なければコロナの利用ができて診断が出て支援学級となると利用できないとなると、特別支援学級在籍の生徒で不登校となった場合の行き先がない状況で、担任も保護者も大変困っているため、特別支援教育の拡充もお願いしたい。

1 全体集計（教職員向けアンケート）

1 2. 学校規模の適正化について、ご意見やご要望があればお聞かせください。（つづき）

- ・学校現場からの意見としては、学校規模がある一定数を下回ると学校の活力が大きく失われるように感じます。（個人的には各学年3クラスが境界のように感じます）学校の改編は50年単位の長期の視点に立った上での判断が必要な大きな事業であると感じます。50年先の在籍数に基づき、中学校では3～4クラス程度が確保できることを理想とした、学校設定数になることを望みます。その観点から個人的には最終的に中学校2、小学校4（浦戸は廃校）程度まで縮小されることを念頭とした計画が必要になると思います。ただこれは段階的な統廃合の結果であり、短期的なものではありません。また、短期的な統廃合の際に、その校舎を使用しなくなった後に、介護施設等への転用などの視点をもったり、地域との交流施設（公民館など）との併設や統合なども検討され、部活動の地域移行の際の拠点としての役割も担えるものとなることを願います。

また、玉川中学校の校舎は老朽化が顕著で一部躯体のひび割れ等も存在するため、規模の適正化案が決定した場合速やかな建て替えの必要を感じます。その際には、仮校舎は建設せず、現在のグラウンドに新校舎を建設し。現校地はその後解体・グラウンドとして再整備をする方法もあります。

小中学校を統廃合する際には、小中一貫ではなく、義務教育学校とすることの方がよいと考えます。小中の教員の文化の違いなど問題点もありますが、継続的に子供・保護者と向き合い、幼児から青年期までの視点をもった上での児童生徒への指導が現代的な問題に対処する上で非常に重要であると考えます。また、他校種の教員と関わることで受ける衝撃やそこで得る知識が教員自身にとっても大きな学びとなると考える為です。

- ・学校用地の確保なども視野に入れた議論が必要ではあるが、市中心部に用地確保が可能であれば義務教育学校の設置を検討。用地の確保が困難な場合や市周辺部では同校種どうしの統合が必要。各地域の人口変異や学区の境界についてはさらに細かなデータがないと具体的な方向性を示すことは困難だと思えます。また、中学校では今後の部活動のあり方を考えた場合に学区の弾力化（自由化）は必須になると考えられます。
- ・様々な状況を考えれば必要なことだと思えます。

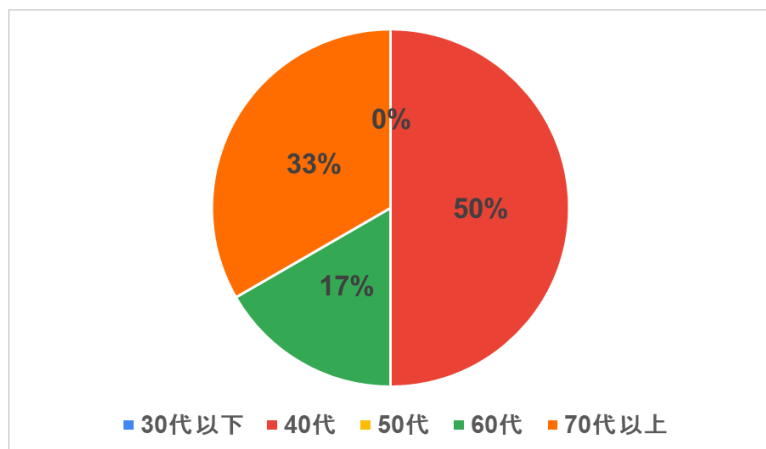
第2章

附属機関向けアンケート

集計結果

2 全体集計（附属機関向けアンケート）

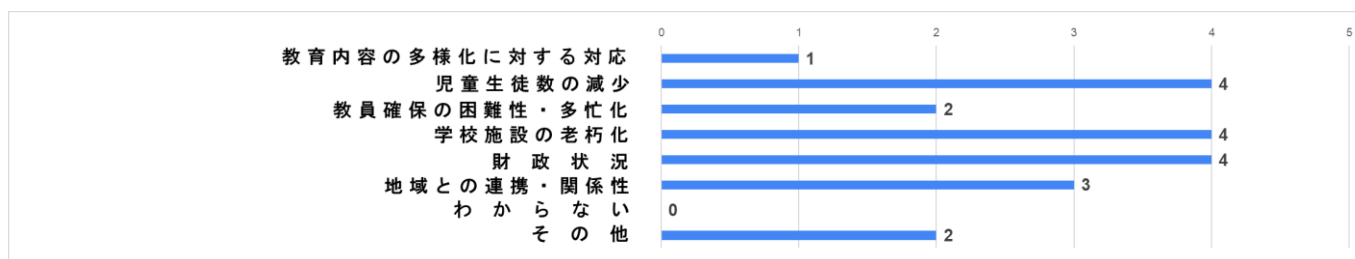
1. 回答者の年代



年代	回答者数 (人)
30代以下	0
40代	3
50代	0
60代	1
70代以上	2

2. 現在の塩竈市の学校（小・中学校）の状況について感じる課題は何ですか。

(件)



※「その他」の意見

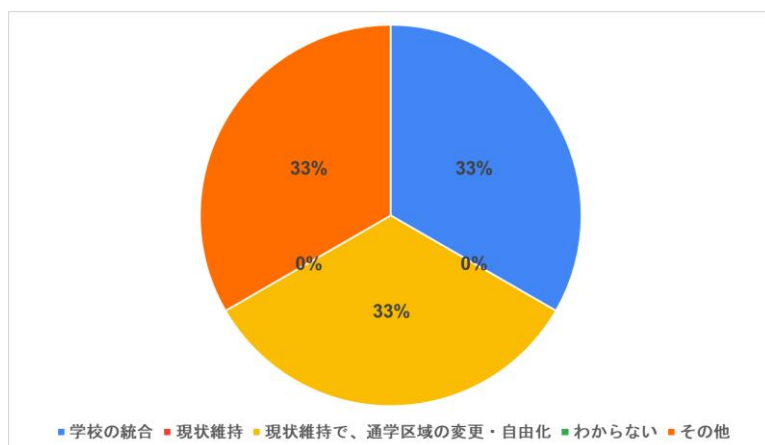
- ・子供会の参加の有無。
- ・学力が低すぎる。仙台や多賀城と比べて民度の低い生徒が多いと聞いて、今から不安です。

3. 上記のように回答した理由を教えてください。

- ・財政難で、学校の老朽化、さらに児童数の急激な減少があると思う
- ・教員の休職者が増えているようですが、塩釜の学校ではどんな状況なのか。
子供会の任意参加ということで、私たちの時代では、子育ての先輩後輩がいて親として人として成長させていただきました。これから多様化する現実社会においてそのような繋がりはとても大切ですが、これからの地域コミュニティにおいても不安を感じます。
- ・現状を考え、見直せる所は見直し検討を考えてほしいです。
- ・幼稚園や保育園の頃は、まだ「園の個性」で子供を良く教育してくれるけど、公立小学校に進学した途端、学力や民度の低い児童が多くなるのでは、我が家みたいに市外に引越しやむなし、と考える家庭も出てくると思う。地域格差も甚だしい。
- ・財政も厳しい現状なので統合するのも一案だと思います。廃校を、上手く利用したい。

2 全体集計（附属機関向けアンケート）

4. 学校規模の適正化を推進するための方法として、どの手法が望ましいと考えますか。

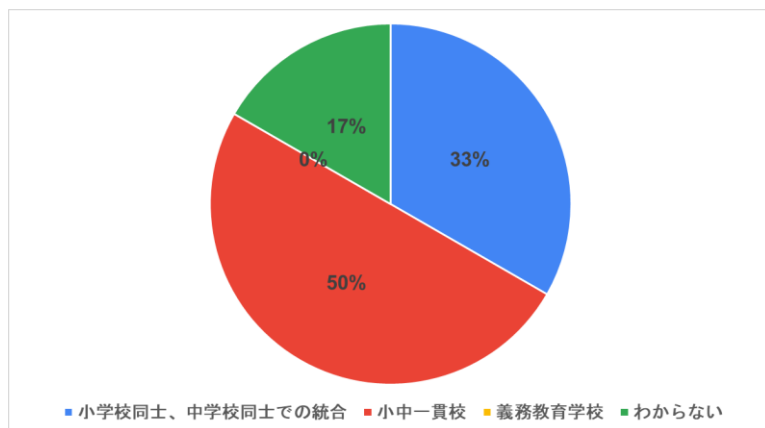


選択肢	回答数（件）
学校の統合	2
現状維持	0
現状維持で 通学区域の変更・自由化	2
わからない	0
その他	2

※「その他」の意見

- ・学校統合と通学地域の変更。
- ・学校の統合よりも先にやることがある。子供の学力低下に向き合ってほしい。算数に力を入れている大河原町を見習ってほしい。

5. 学校を統合する場合、どの形態が望ましいと考えますか。



選択肢	回答数
小学校、中学校 同士での統合	2
小中一貫校	3
義務教育学校	0
わからない	1

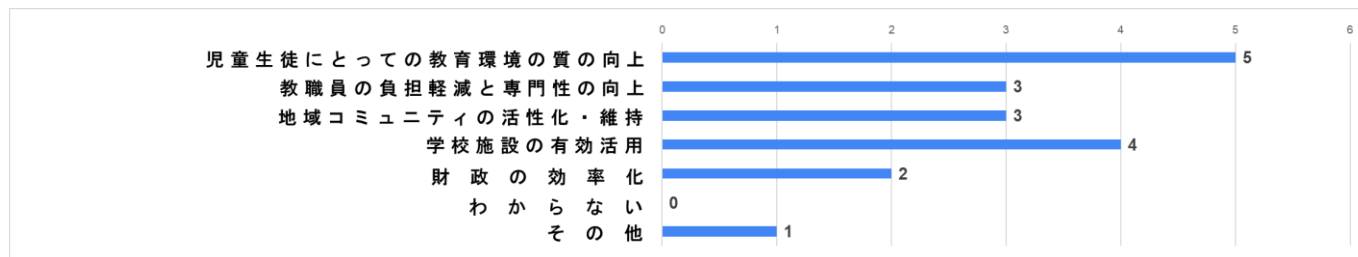
6. 具体的にどの学校を統合するのが良いと考えますか。

- ・統合する意味ある？教育にけるお金や人材を削減したいからだったらナンセンスすぎる。いつまでも、寿司と神社だけでは塩竈市は持ちませんよ。
- ・各団体の皆さんとの話し合いで検討するのが良いと思います。

2 全体集計（附属機関向けアンケート）

7. 学校規模の適正化を進めるにあたり、最も重視すべき点は何だとお考えですか。

(件)



※「その他」の意見

- ・小学校低学年の通学の負担軽減

8. 上記のように回答した理由を教えてください。

- ・子供達が学校へ通うわけは義務だけではなく何かを期待して楽しみにして通っていると思います。勉学も大切ですが、心を育てて生きる力とは何かを見直してほしいと思います。ので人的環境はとても大切です。専門性は大学で学んでいると思います。子供達と一緒に先生としても愛を持って教育について学んでいく向上心を持ってほしいと思います。

通学について学校統合になった場合、法定で定めている通学距離以上の通学路の子どものことも考えてほしいです。ちなみに私の時代は集団登校だったので遠い道のりでも楽しく通えたのでご参考に。

- ・このままだと、優秀な人材は塩釜からいなくなるし、塩釜で子育てしたいという人は減ると思います。産んで健康に元気に育てばいいわけじゃない。今の親は、子供の最終学歴などを考えてスタート地点を選びます。
- ・学力向上、財政の健全化、施設の有効利用、地域とのコミュニケーションの強化。

9. 学校規模の適正化によって生じるであろう、地域コミュニティや子どもの生活への影響について、どのように予測され、またその対策として何が考えられますか。

- ・地域コミュニティに関しては、その地域コミュニティに関しては地域ごとに行っていることなので、どんな影響をご心配なのかわかりませんが、やはり子どもの生活影響には隣人と学区が違ったり戸惑いもあると思います。でも周りの大人が見守って寄り添い支援することで子供はすぐに適応できると信じています。
- ・学校合併になった場合当初は子供達、親御さん達の不安もあるかと思いますが良き方向になればいいですね。
- ・閉塞感が増す。コミュニティが狭くなり、元々学校に居場所が無いような子は、益々居場所がなくなる。教師の負担増。子供の個性を大事にした教育ができなくなる。学力・民度の低い子供に合わせる事により、全体的な学力の低下、学校治安の悪化。
- ・各団体との密接な交流、話し合いの強化。

2 全体集計（附属機関向けアンケート）

10. 関係者との合意形成を進める上で、どのような方策が有効だとお考えですか。

- ・適正事案をいくつか挙げてそれに対して財政の面と利便性の良い点と難点、子どもたちの通学路など、統合した学校のエピソードも聞いていると思いますが参考になりますよね。
- ・沢山の人達の意見を聞くことが良いとおもいます。
- ・子供や保護者達の意見も大事にしてほしい。子ども達や子育て中の親達に『地域ガチャ外れ』と言われないような塩竈市であってほしいですね。
- ・各団体とのコミュニケーションを、定期的に持ちその都度問題点を話し合う。

11. 学校規模の適正化等に関する方針（案）をご覧になった感想をお聞かせください。

- ・地元有識者の私たちの意見を聞いていただき大変嬉しいかったです。わからないことがたくさんあり、役に立たない答えかもしれませんが、社会教育委員として関わることができありがたいです。
- ・各方面、各団体から広く意見を集めこのようにまとめて頂きました事ご苦労様でした。大変参考になりました。

12. 学校規模の適正化の成功事例や課題について、ご存知のことがあればお教えてください。

また、そこから得られる教訓は何だとお考えですか。

- ・事例や課題については、みなさんの方がご存知かと思いますが、やり方次第でどうにでも変化していくと思います。震災を乗り越えた塩釜なので大丈夫ですよ！なんとかなるさで新しい方策を期待しています。

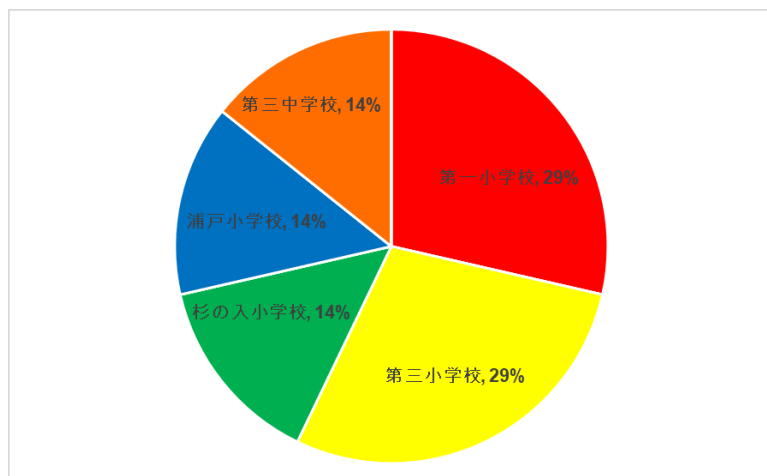
13. 学校規模の適正化に関して上記項目以外で特筆すべきご意見やご提案がございましたらご自由にご記入ください。

- ・良き方向になることを願っています。

第3章
保護者向けアンケート
集計結果

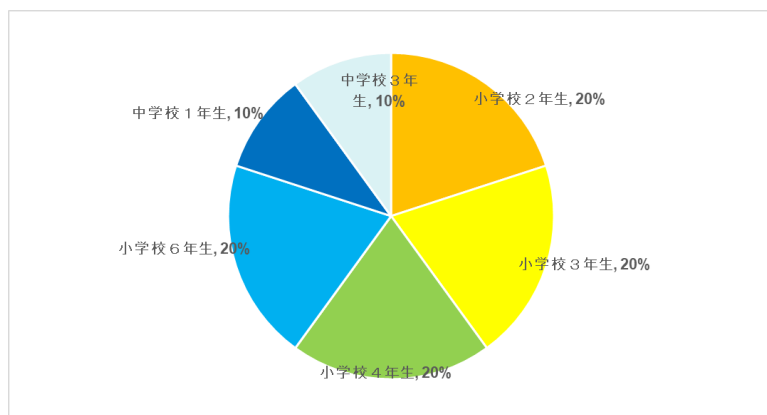
3 全体集計（保護者向けアンケート）

1. 子どもの所属学校（きょうだいがいる場合は複数回答）



所属校	回答人数 (人)
第一小学校	2
第二小学校	0
第三小学校	2
月見ヶ丘小学校	0
杉の入小学校	1
玉川小学校	0
浦戸小学校	1
第一中学校	0
第二中学校	0
第三中学校	1
玉川中学校	0
浦戸中学校	0

2. 子どもの学年

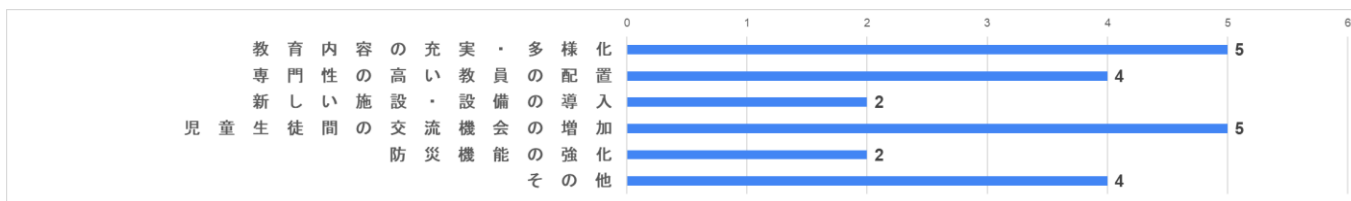


所属校	回答人数 (人)
小学校1年生	0
小学校2年生	2
小学校3年生	2
小学校4年生	2
小学校5年生	0
小学校6年生	2
中学校1年生	1
中学校2年生	0
中学校3年生	1

3 全体集計（保護者向けアンケート）

3. 学校規模適正化が進む可能性があるとした場合、どのような点に期待しますか。

(件)



※「その他」の意見

- ・地域の人が学校と多く関われる場所取り。高齢者の生き甲斐向上と核家族化が進む子育て世代のサポートを兼ねて。
- ・統合案(廃止学校の関係者の反対意見に対する説得)。
- ・施設維持管理費が財政を圧迫しないこと。
- ・あまりムダな多様化はいらない

4. 学校規模適正化が進む可能性があるとした場合、どのような点に不安を感じますか。

(件)

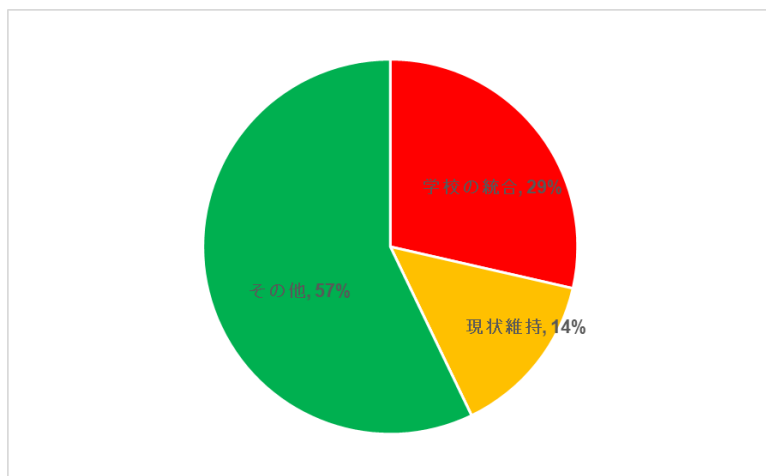


※「その他」の意見

- ・市の将来性。世帯流入の減少やそれに伴う歳入減、活気が損なわれるのではないか。
- ・学校の安全性→20年後(複数学校の廃止時期)にまた統合するのか、それとも今のタイミングで新築工事をするのか。

3 全体集計（保護者向けアンケート）

5. 学校規模の適正化を推進するための方法としてどの手法が望ましいと考えますか。

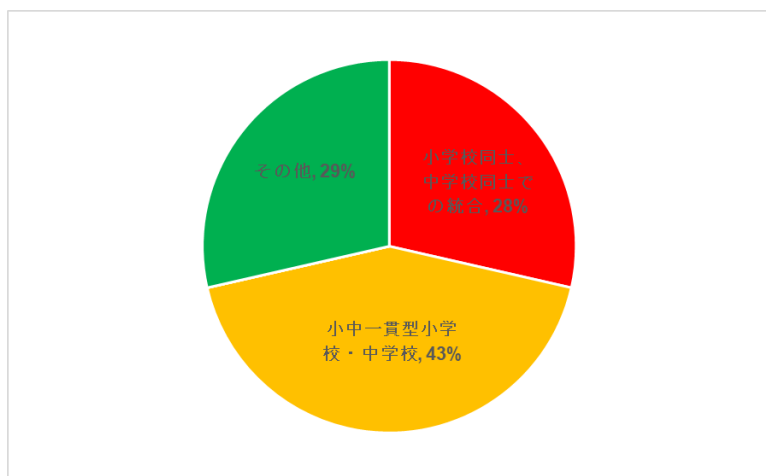


選択肢	回答数（件）
学校の統合	2
現状維持	1
現状維持で、通学区の変更・自由化	0
わからない	0
その他	4

※「その他」の意見

- ・小中一貫校化
- ・中学校を小学校と統合や中学校同士を統合するなど、小学校は残して、中学校を移動する事で、持続可能な規模に再編する。
- ・基本的には統合による再編だが、適正の定義がわからない。
- ・現状維持が望ましいが、統合であれば小中学校(通行距離増加)はデメリットしかない。

6. 学校を統合する場合、どの形態が望ましいと考えますか。



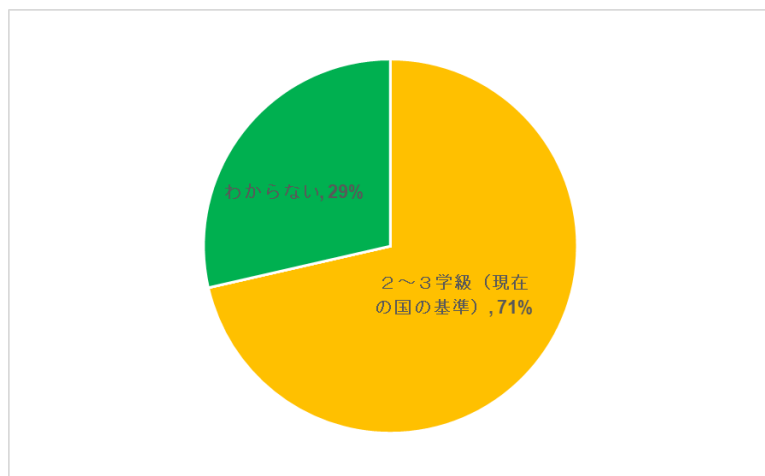
選択肢	回答数（件）
小学校同士、中学校同士の統合	2
小中一貫型小学校・中学校	3
義務教育学校	0
わからない	0
その他	2

※「その他」の意見

- ・上記のとおりです。
- ・区域ごとに考えて下さい。

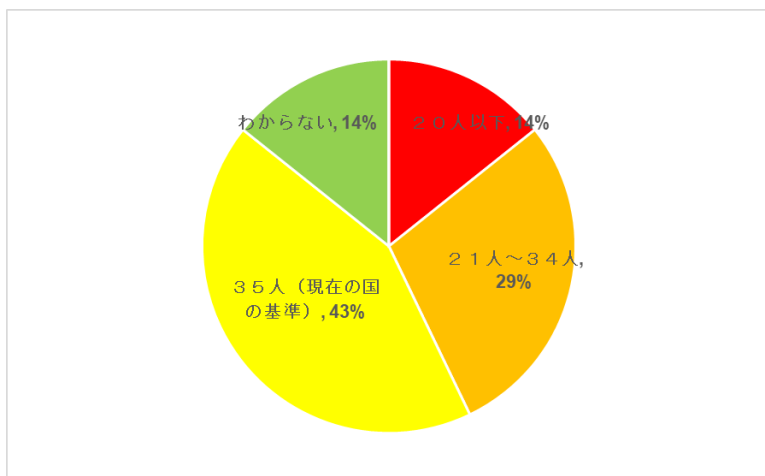
3 全体集計（保護者向けアンケート）

7-1. 望ましい1学年の学級数はいくつぐらいだと思いますか。（小学校）



選択肢	回答数 (件)
1 学級	0
2~3 学級 (現在の国の基準)	5
4~5 学級	0
6 学級以上	0
わからない	2
その他	0

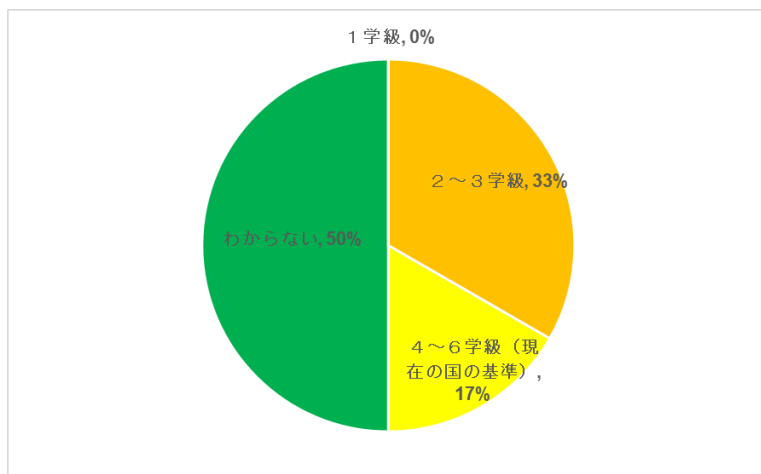
7-2. 望ましい1学級あたりの児童数は何名ぐらいだと思いますか。（小学校）



選択肢	回答数 (件)
20 人以下	1
21 人~34 人	2
35 人 (現在の国基準)	3
わからない	1
その他	0

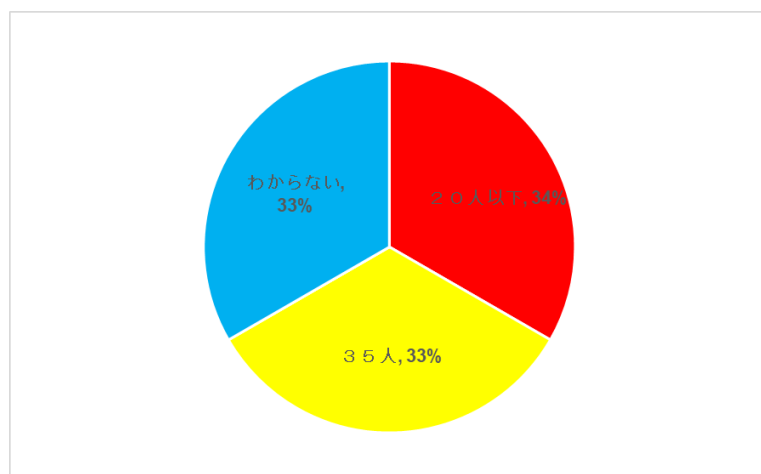
3 全体集計（保護者向けアンケート）

8-1. 望ましい1学年の学級数はいくつぐらいだと思いますか。（中学校）



選択肢	回答数（件）
1学級	0
2～3学級	2
4～6学級 （現在の国の基準）	1
7学級以上	0
わからない	3
その他	0

8-2. 望ましい1学級あたりの生徒数は何名ぐらいだと思いますか。（中学校）

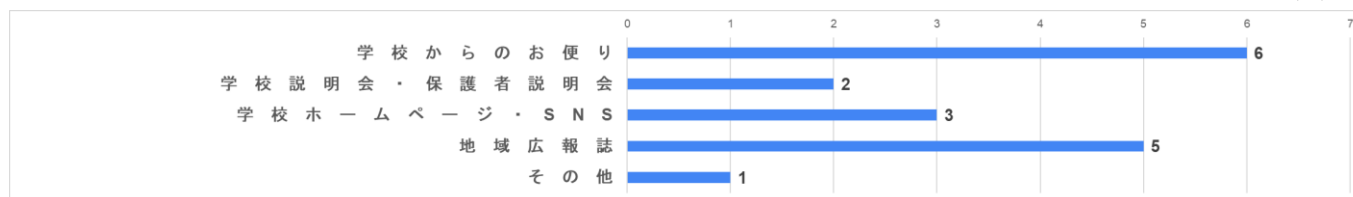


選択肢	回答数（件）
20人以下	2
21人～34人	0
35人	2
36人～39人	0
40人 （現在の国の基準）	0
わからない	2
その他	0

3 全体集計（保護者向けアンケート）

9. 学校規模適正化に関する情報を、どのような方法で受け取りたいですか。

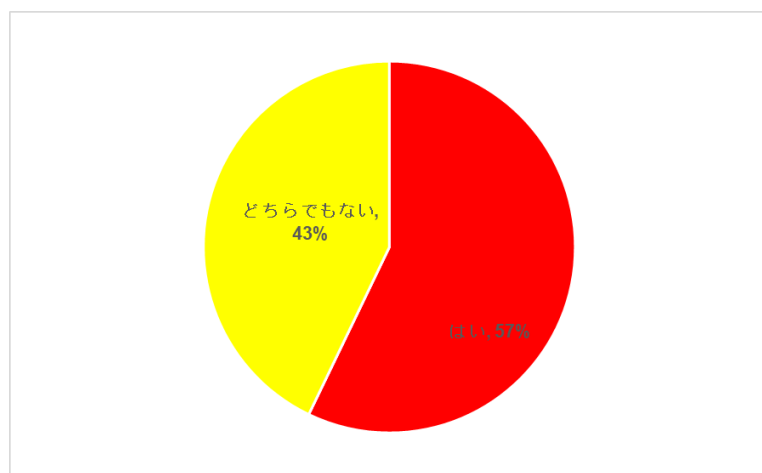
(件)



※「その他」の意見

- ・幼稚園や保育園への周知

10. 学校規模適正化について、教育委員会や学校に直接意見を伝えられる機会があれば参加したいですか。



選択肢	回答数（件）
はい	4
いいえ	0
どちらでもない	3